

主日礼拝

2021年11月28日
午前10時30分前奏 「いま来りませ、救いの主イエス」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「城門よ、頭を上げよ
とこしえの門よ、身を起こせ。
栄光に輝く王が来られる。
栄光に輝く王とは誰か。
万軍の主、主こそ栄光に輝く王。」 (詩編 24:9,10)

点火 242-1

「主を待ち望むアドヴェント」1節

1.~4. しゆを まちのぞむ アドヴェント
1. さいしょのろうそくともそうしゆがみちをそなえられたこのときをまもろう
1.~4. しゆのたみよよろこべしゆはちかい

リタニー「アドヴェント」

司式者：アドヴェント、小さな灯がともります。
主の日ごとにともります。

みんな：わたしたちの心にも、小さな灯がともります。

司式者：東の空に輝く大きな星、光をまして招きます。

みんな：星に導かれ旅する博士たち、ユダヤの地をめざします。

司式者：ベツレヘムの夜空に、救い主の誕生を祝う
天使のうたごえがひびきます。

みんな：羊飼いたちはその知らせに大喜び、幼子イエスさまをたずねます。

一緒に：わたしたちの心にも、イエスさまを迎えることができますように。
マラナ・タ、主よ、きたりませ。

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

聖書 イザヤ書 51:4~11 旧約(新共同訳) p1146

わたしの民よ、心してわたしに聞け。
わたしの国よ、わたしに耳を向けよ。
教えはわたしのもとから出る。
わたしは瞬く間に
わたしの裁きをすべての人の光として輝かす。
わたしの正義は近く、わたしの救いは現れ
わたしの腕は諸国の民を裁く。
島々はわたしに望みをおき
わたしの腕を待ち望む。
天に向かって目を上げ
下に広がる地を見渡せ。
天が煙のように消え、地が衣のように朽ち
地に住む者もまた、ぶよのように死に果てても
わたしの救いはとこしえに続き
わたしの恵みの業が絶えることはない。
わたしに聞け
正しさを知り、わたしの教えを心におく民よ。
人に嘲られることを恐れるな。
ののしられてもおののくな。
彼らはしみに食われる衣
虫に食い尽くされる羊毛にすぎない。
わたしの恵みの業はとこしえに続き
わたしの救いは代々に永らえる。
奮い立て、奮い立て
力をまとえ、主の御腕よ。
奮い立て、代々とこしえに
遠い昔の日々のように。
ラハブを切り裂き、竜を貫いたのは
あなたではなかったか。

海を、大いなる淵の水を、干上がらせ
 深い海の底に道を開いて
 贖われた人々を通らせたのは
 あなたではなかったか。
 主に贖われた人々は帰って来て
 喜びの歌をうたいながらシオンに入る。
 頭にとこしえの喜びをいただき
 喜びと楽しみを得
 嘆きと悲しみは消え去る。

賛美 231(1,3,4) 「久しく待ちにし」

Veni, veni, Emmanuel
 詞：ラテン語聖歌、9世紀

VENI EMMANUEL
 曲：Processionale, 15世紀

① ひさしくま - ちにすくいの主き - たり、
 ② この世にうち - かつちからの主き - たり、
 ③ やみのよをて - らすひかりの主き - たり、
 ④ われらを見ち - びくのぞみの主き - たり、

とらわれのた - みをときはなちた - まえ。
 > しょうりのこと - ばをあたえよ、われに - まえ。
 > くらきくもは - らいよるこびをた - まえ。
 > みくにのとび - らをいまひらきた - まえ。

(くりかえし)
 よるこべ、インマ - スエルきたりてすく - いたもう。

- ① 久しく待ちにし 救いの主来たり、
 とらわれの民を 解放ちたまえ。
 喜べ、インマヌエル来たりて救いたもう。
- ② この世に打ち勝つ 力の主来たり、
 勝利のことばを 与えよ、われらに。
 喜べ、インマヌエル来たりて救いたもう。
- ③ やみの夜をてらす 光の主来たり、
 暗き雲はらい 喜びをたまえ。
 喜べ、インマヌエル来たりて救いたもう。
- ④ われらを導く 望みの主来たり、
 み国の扉を いま開きたまえ。
 喜べ、インマヌエル来たりて救いたもう。

説教 「希望へと目をあげる」

賛美 248 「エッセイの根より」

Es ist ein Ros entsprungen
 詞：ドイツ・キャロル、15世紀

ES IST EIN ROS ENTSPRUNGEN
 曲：Alle Catholische Geistliche Kirchengesang, 1599

1 エッ サイの根より おい - いたる、
 2 イ サヤのつけし ちい - なばら、
 3 か おりはたかし、 ちい - なばら、

よ げんによりて つたえ - られし
 > きよきマリアは、 はほと - なりぬ。
 > きよきひかりは やみを - おいぬ。

ばらはさきぬ。 しずかにさむき
 > 主のちかひのみ子ほうまれぬ、
 > まことのかみ、 まことのひとよ、

ふゆの - よるに。
 > すくい - のため。
 > すくい - ぬしよ。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 前奏曲とフーガホ短調 (D.ブクステフーデ)

司式 大代 恵
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。